

支援プログラム

事業所名

こどもデイサービス じゃんけんぽん

(児童発達支援)

作成日

2024 年

8 月

1 日

法人（事業所）理念		誰もが互いに尊重し、個性を認め合い、ともに学び、共に成長できる共生社会を志す会社でありたいと考えます。 1. 「楽しみながら生きる力をつけよう」をテーマに、一人ひとりに寄り添った支援を心がけています。 2. 一人ひとりが主役となって「また明日も来たい!」と思う、安心・安全な心やすらぐ環境を提供し続けることに努めます。 3. 未就学児から大人まで障がいを持つ方に途切れることのない支援を展開し、社会福祉の向上を目指します。				
支援方針		こどもの発達特性に合わせた環境を整え、安心できる環境で楽しく遊びながら様々な成功体験を積み、自己肯定感を高め、出来るようになるように支援をします。 また、家族の困りごとの相談援助やライフステージに合わせた途切れのない支援をして、不安や負担を軽減して幸せな生活を過ごすことが出来るように支援をします。				
営業時間		9 時 30 分から 18 時 30 分まで		送迎実施の有無	あり	
		支 援 内 容				プログラム例
健康・生活	健康状態の維持・改善	保護者や保育園等と連絡帳や口頭で心身の状況を確認や、毎日の検温や手洗い等の実施による健康状態の把握や表情や行動からいつもと様子が違う等の心の変化を見逃さず、健康な心と体を育むことが出来るように支援をします。心身の状況に応じて保護者への状況の報告等の適切な対処を行うことや進学、進級等の環境の変化がある場合には保護者や保育園等と情報共有し、支援をします。				・検温、手洗い ・食事 ・排泄・衣類の着脱 ・始まりの会 ・帰りの会 ・ラジオ体操 ・玩具等の片付け ・荷物の整理整頓 ・荷物の準備 等
	生活習慣や生活リズムの形成	家庭での様子を共有しながら睡眠、食事、排泄等の基本的な生活のリズムを身に付けることが出来るように支援をします。子どもの特性に合わせて、楽しく食事が出来るように咀嚼・嚥下の接触状態の観察や、姿勢保持椅子や自助具等の使用をすることや排泄が出来るように補助便座を使用します。また、病気の予防や安全のために室温の調節や換気、来所時や食事前の手洗いや消毒、熱中症予防のための水分補給等をします。				
	基本的生活スキルの獲得	保護者や学校等と子どもの状態を共有し、食事、排泄、衣類の着脱、身の回りを清潔にすること等の基本的技能をイラストを用いて視覚にわかりやすく表示し、子どもの状態に合わせて身に付けることが出来るように支援をします。定期的な声かけや補助便座を使用したトイレトレーニング、衣類の着脱や前後の確認、食事前の手洗いや食時後の口周りの確認等の清潔保持をします。また、荷物の整理整頓や玩具の片付け、帰り支度の準備等の身の回りのことをひとりで出来るようにします。				
	構造化等による生活環境の調整	時間や空間を本人が分かりやすいように文字やイラストを用いて1日のタイムスケジュールや何をする場所なのかのをわかりやすく視覚的に表示し、見通しを持って安心して過せるようにしています。また、工作やクッキング等では文字やイラストで手順を視覚的に表示して、主体的に取り組むことが出来るようにしています。				
運動・感覚	姿勢と運動・動作の基本的技能の向上	外部講師による体操教室やダンス、公園での遊具遊び等の活動を通して日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や、運動・動作の改善および習得、筋力の維持・強化をすることが出来るように支援をしています。				・体操教室 ・運動遊び ・音楽療法 ・ダンス ・公園に行こう ・感触遊び ・工作 ・みんなで遊ぼう 等
	姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用	運動・動作が困難な場合には、保護者と情報共有しながら補助用具等を活用し、安全に配慮しながら支援をしています。椅子に座ったときに姿勢保持が難しい場合には姿勢保持椅子を用いて正しい姿勢を意識し、保持できるようにしています。				
	身体の移動能力の向上	自力での身体移動や歩行、歩行器や車椅子による移動能力向上のため、子どもの状態に合わせ、安全に配慮しながら移動能力の向上のための支援を行います。事業所外ではより安全に配慮して支援を行います。				
	保有する感覚の活用	外部講師による体操教室やダンス、トランポリンやバランスボード等の室内遊具やブランコやジャングルジム等の屋外遊具で遊びを通して、聴覚や視覚、触覚、固有覚、前庭覚等の感覚の発達を促すように支援をしています。				
	感覚の補助及び代行手段の活用	保護者と子どもの状態を共有しながら、保有する感覚器官を用いて情報を収集し、状況を把握しやすくするために眼鏡やイヤーマフ等の補助機器等を保護者と情報共有ながら活用して支援をします。				
	感覚の特性への対応	感覚の特性（過敏や鈍麻）や認知の特性を踏まえ、視覚過敏でも集中できるように掲示物を減らすことやイヤーマフの着用をして聴覚過敏を低減する等の環境調整等の支援をします。感触遊びによる触覚の発達の促しや視覚と指先を同時に使うハサミ工作や視覚と身体を同時に使う風船バレーや的当てをして、触覚や前庭覚、固有覚等の感覚の発達を促すように支援をしています。				

		支 援 内 容		プログラム例
本人支援	認知・行動	認知の特性についての理解と対応	一人一人の認知の特性を理解し、視覚的にわかりやすく、簡潔に具体的に伝え、善悪や適切な行動ができるように支援をします。また、こだわりは無理にやめさせることはせず、原因や分析をし、環境調整等をしてより良い行動につながるように支援をします。偏食は、食材を細かく刻むことや野菜を育て調理する等をして触覚への刺激を減らす等の支援をします。	・野菜作り ・クッキング ・みんなで遊ぼう ・伝承遊び ・音楽療法 ・個別支援 等
		対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得	子どもの発達を把握し、主体的に取り組めるように環境を整え、視覚、聴覚、触覚等の感覚を活用して図形の型はめや絵カード、絵本による図形の弁別や絵の模写によって、物の機能や形、色等の概念の発達の支援をします。そして、トランプ等のルール遊びを通じて類似概念や比較概念、時間概念、抽象概念等の認知の発達を促し、的確な判断をして行動することができるように支援をしています。	
		行動障害への予防及び対応	アセスメントを行い、感覚の特性（過敏や鈍麻）やコミュニケーション手段等の把握、行動障害が起こりやすい状況等の原因を特定し、スケジュールの視覚的な表示や具体的な伝え方、活動内容の工夫等の環境調整をして行動障害の軽減や予防の支援をします。個人の価値観を大切にし、本人の望ましい行動が増え、安心して穏やかな生活をする事が出来るように支援をします。	
	言語・コミュニケーション	コミュニケーションの基礎的能力の向上	本人のは発達に合わせて、言葉によるコミュニケーションだけでなく、表情や身振り、カード、ひらがな表等を用いて意思疎通が出来るように支援をしています。	・みんなで遊ぼう ・おでかけしよう ・伝承遊び ・体操教室 ・運動遊び ・公園に行こう ・個別支援 等
		言語の形成と活用	絵カード、関わり遊びや子どもの好きな遊び、社会見学等で興味を持った物を名前を伝えることや話しかけることで、自発的な発声を促すように支援をします。そして、単語から二語文へと徐々に発達を促すように支援をします。	
		人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得	おでかけ等で興味がある飛行機等の物や絵本を使って指差しをしながら情報共有や呼称ゲーム等を通じて、楽しみながら語彙を増えるように支援をします。また、お友達との玩具の貸し借り等の人との関わり方や遊具の順番待ちが出来るように指導員がお手本を示しながら身に付けることが出来るように支援をします。	
		コミュニケーション手段の選択と活用	子どもの発達に合わせて指差しや身振り、絵カードやひらがな表等の環境整備をしながら意思の伝達ができるよう支援をします。また、気持ちを伝えることが難しい子どもには、絵カード等を用いて気持ちを伝えることが出来るように支援をします。	
		読み書き能力の向上	体操教室や運動遊び等の活動を通じて体を動かして、ボディイメージの発達を促して読み書きに必要な姿勢保持や目と手の協調等の発達の支援をします。また、発達段階に合わせて絵カードのマッチングや物の名称等の言葉の理解、絵を描くことや図形の模写、なぞりや文字の空間を意識した模写等で読み書き能力の向上の支援をしています。	
	人間関係・社会性	遊びを通じた社会性の発達	興味のある遊びを通じて指導員がお友達と一緒に遊びながらひとり遊びからルール守って遊ぶ協同遊びへと社会性の発達が促されるように、自分の意見の適切な主張や感情の表現しながら、ルールを守ることや関わり方を身に付け、良好な関係を構築できるように支援をします。	・みんなで遊ぼう ・壁面作り ・ランチクッキング ・おでかけ ・伝承遊び ・自由時間 等
		自己の理解と行動の調整	本人の得意・不得意等や行動特性を把握し、本人の気持ちに寄り添いながら指導員と一緒に代替方法等を考え、気持ちや情動をコントロールし、気持ちを切り替えて行動をすることが出来るように支援をします。	
仲間づくりと集団への参加		本人の気持ちを聞いて、遊びや活動へ参加するようにし、トランプやだるまさんが転んだ等のルールがある遊びを通じて、ルールの守って楽しく参加することが出来るように支援をします。また、みんなで一つの物を作るランチクッキングや壁面作り等の活動を通じて、手順の理解やお互いを意識し、仲間づくりが出来るように支援をします。		
家族支援		トイレトレーニングの介助方法等の子育てに関する困りごとに対する相談援助をし、不安を解消して充実した生活が送れるように支援をします。また、障害等に関する情報提供や、保護者参観日を設けて保護者同士の交流の機会や支援場面を通じた学びの機会を提供します。		
移行支援		保育園等との利用時間等の調整やこどもの状態、支援内容を共有をして、良い支援につながるようにしています。また、小保育園から中保育園などのライフステージの切替えを見据えて、進路や移行先の選択についての相談援助やじゃんけんぼんプラスへの見学・体験の提案等、将来的な移行に向けた支援をしています。		
地域支援・地域連携		自立支援協議会への参加や障害児等療育支援事業の交流会や勉強会への積極的な参加や学校や児童クラブと送迎時に日々の子どもの状況等の情報共有をしています。学校や児童クラブ、保護者、事業所等で開催する会議にも積極的に参加し、支援方法等を共有して保護者に相談援助をしています。		
職員の質の向上		研修・訓練の年間計画を策定し、外部講師による応用行動分析や感覚統合等の発達支援研修の実施や虐待防止研修、感染症対策、事業継続計画（BCP）等の研修・訓練の社内研修を実施し、職員の質の向上に努めています。さらに、警察署や消防署、権利擁護センター等の外部の関係機関と連携して、不審者対応訓練や救命救命講習、権利擁護研修を実施しています。		
主な行事等		初詣、お花見、節分、夏祭り、ランチクッキング、ハロウィン、クリスマス会、年賀状作り等の季節に合わせた活動を実施し、季節を感じながら楽しめるようにしています。事業所外の博物館や工場等を見学し、展示物を見ることや体験を通じて関心を高め、多くの経験が出来るようにしています。警察署と連携して不審者対応訓練や交通安全教室の実施、交通児童遊園等の施設を利用して、楽しく体験しながら交通ルールを学ぶようにしています。消防署と連携して年3回の避難訓練（地震、火災、水害）の実施や防災センター等の施設を利用して、体験しながら災害を学ぶようにしています。		